

# これからの時代におけるキャリア支援

ー キャリアコンサルタント・キャリアコンサルティングの動向より

労働政策研究・研修機構

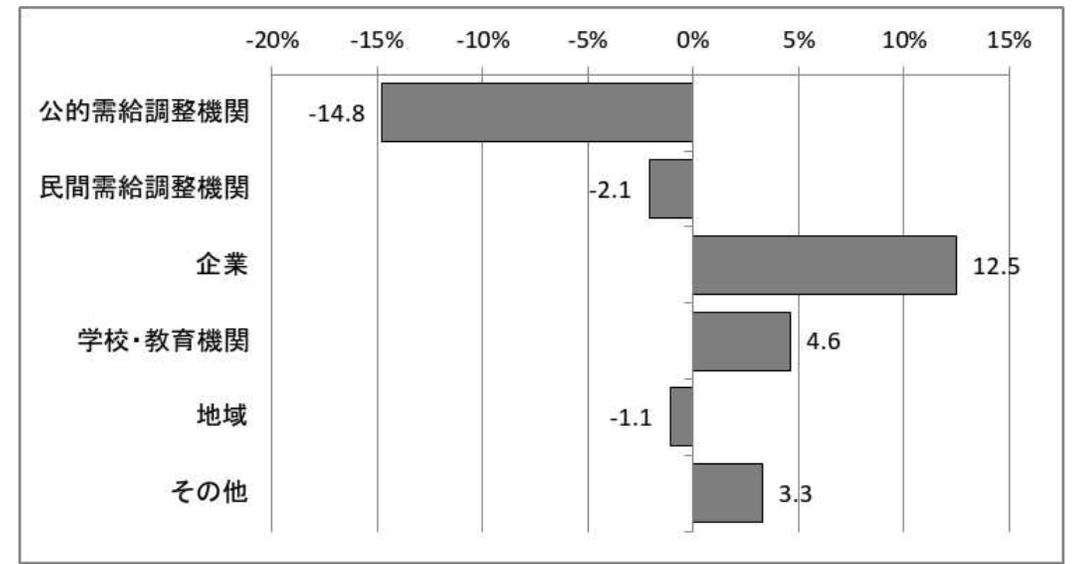
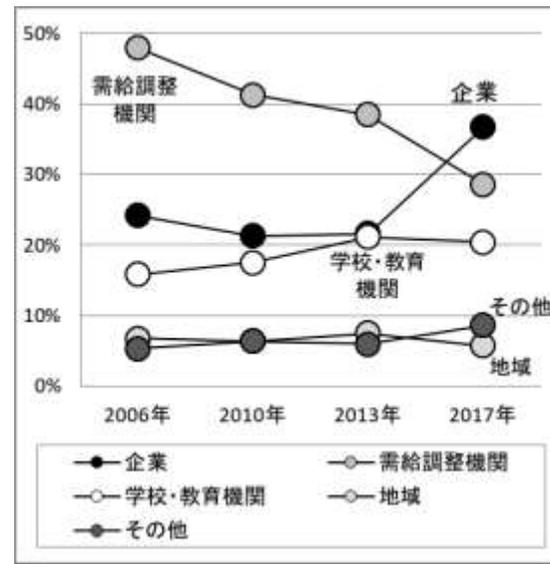
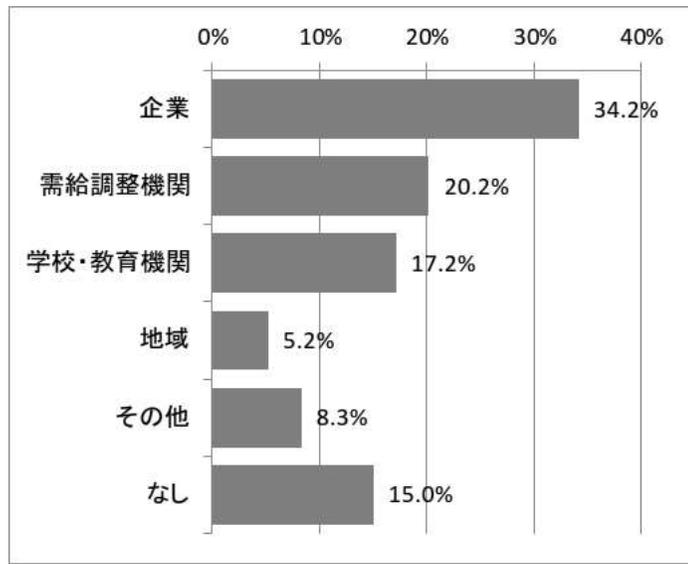
下村英雄

hi.shimomura354@jil.go.jp

# キャリア支援：どの領域が伸びているか

## ■ キャリアコンサルタントの主な活動の場及び2006～2017年の比較

- 2017年時点で、活動の場は、企業3割、需給調整機関2割、学校2割、地域その他1割
- 2006年から2017年で需給調整機関（特に公的需給調整機関）が減少し、企業が大きく増加
- 「学校」が増加。「その他」の領域も微増



労働政策研究・研修機構（2018）「キャリアコンサルタント登録者の活動状況等に関する調査」より。キャリアコンサルタント3,273名対象。2017年調査実施。2006年調査、2010年調査と比較

# 新たな「地域・福祉領域」

## ■ 「その他」の領域が活動するキャリアコンサルタントの活動が拡大

- 必ずしも量的に拡大している訳ではないが、活動領域が各方面に多様化している

## ■ 調査で、主な活動の場「その他」で回答された自由記述内容：

- ① **医療機関**：病院、患者さんの職場復帰支援、がん患者就労支援、難病患者の就労
- ② **福祉施設**：社会福祉法人、福祉事務所、生活困窮者就労支援施設、高齢者施設、依存症者の就労支援、ひとり親、刑務所、少年院
- ③ **特に、障害者支援**：障害者の就労支援、障害者の職場定着支援、就労自立センター、就労支援センター（うつ病、発達障がい）
- ④ **自治体等**：都の就業支援機関、官公庁受託事業、男女平等・ダイバーシティセンター、子ども・若者総合相談センター、家庭裁判所、区役所窓口、県機関、若者支援のNPO、電話相談ボランティア

## ■ 医療・福祉機関、自治体等などでキャリア支援が拡大。新領域を形成

→「地域・福祉領域」

一時保護をへて、診断書もあったので生活保護を受けることができ、母子家庭生活支援施設に入所しました。離婚調停は不成立だったため、これから裁判になります。

法テラスに相談して弁護士さんを紹介してもらい、弁護士料も借りることができました。夫は今でも借金で大変で、月収30万円のうち、返済が21万円、家賃が8万円、それでも自己破産は選びません。確定申告もしていないそうです。

母子生活支援施設は2DKで、お風呂とトイレは別。子どもたちのレクリエーションもあり、学習室で宿題も見てください。また臨床心理士が週1回話を聞いてくれます。

DVによって、子どもと命以外のほとんどすべてを失ってしまいました。ここまで来るのは大変でしたが、助けを求めてなんとかやってこられました。

しかし、今後のことを考えると不安です。夫婦そろって共働きだったときでも子育てと仕事の両立は大変だったことは知っています。母子生活支援施設を出てから家賃を払い、自分で自立していくことになる、子どもをきちんと育てられるのでしょうか。

(宇都宮健児・猪股正・湯浅誠 (2007) 「もうガマンできない! 広がる貧困ー人間らしい生活の再生を求めて」明石書店より)

## ■ 地域・福祉領域のキャリア支援が各方面で拡大している理由

⇒キャリア支援があらゆる支援の「アンカー役」であるため

- 支援者、被支援者ともに多様だが、いかなる支援も最終的には「自立」を求める
- 「自立」の最大の手段が「就職」であり、したがって、あらゆる公的な支援は「就職」に収斂する
- ダイバシティの世の中にあって、全ての支援がキャリア支援に収斂する。
- **社会正義のキャリア支援**
  - 格差、貧困、外国人、性的少数者など、少数派・周辺層の問題解決に向けた社会正義=社会的公正を実現するキャリア支援に、世界的な関心が集まる

# 社会正義のキャリア支援論

- **「アンカー」**としてのキャリア支援。
  - 長期失業、格差・貧困、外国人、性的少数者など、心理的支援を要する人は多くいるが、その多くが、最終的には就労支援を望む。
- 社会正義のキャリア支援**「3つの可能なプラクティス」**
  - 深い意味でのカウンセリング = voice（声）
    - 社会の問題として聴く
    - 承認的正義、存在を認める
  - エンパワメント = capability（潜在能力）
    - 「情報」「スキル」を重視
    - 自己決定の手段を増やす
    - 自尊感情を高める
  - アドボカシー = emancipation（解放）
    - 環境に働きかける連携
    - 申立・交渉、情報発信



**JUSTICE SOCIAL.** 下村英雄 [著]

社会正義のキャリア支援  
個人の支援から個を取り巻く社会に広がる支援へ

一人ひとりの支援を  
しているだけでは、  
とても乗り越えられない  
壁がある

図書文化

長期失業、不安定就労、格差、貧困、性的少数者など、  
社会の縁辺で苦しむ人々の問題解決に向けて、  
いま、全世界で広がっている  
社会正義 = 社会的公正を実現するキャリア支援とは、  
キャリア心理学の泰斗による本邦初の本格的な撰訳書。